

日本語教育通信 創刊号

発行日：2018年2月26日

発行：国際交流基金派遣

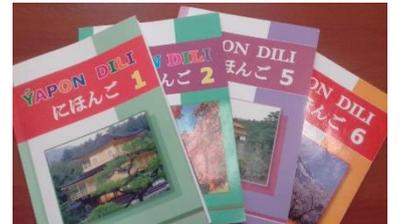
日本語指導助手 上原龍彦

「日本語教育通信」とは

トルクメニスタン国内の日本語教育の「いま」をお伝えするものです。月1回（毎月25日前後）に発行いたします。

トルクメニスタンにおける日本語教育

2007年のアザディ大学日本語学科開設を機に、トルクメニスタンの日本語教育が開始されました。2015年に日本語教育の拡大が決定し、2016年9月からはアザディ大学以外の教育機関でも日本語教育が始まりました。2017年12月現在、アシガバット市内の大学6校、トルクメニスタン全国の学校10校で日本語教育が行われています。アザディ大学では専門科目として日本語を学んでおり、その他大学では第二外国語として日本語教育が行われています。学校では5・6年生の生徒が、さらにアシガバット市内にある140番学校では5・6年生に加え1・2年生も日本語を学んでおり、今後最終学年である12年生まで日本語教育が継続していく予定です。日本語学習者数は2017年12月現在で4000人（推計値）を超えており、今後も増加していくと考えられます。



アザディ大学

2007年の開始当初から日本語教育が行われている教育機関です。アザディ大学では、1年生から5年生までの学生が日本語を学んでいます。1クラス約10名と少人数であり、学生同士のつながりがとても強いのが特徴です。基本的に1学年1クラスですが、2017年9月入学生から日本語学科の定員が20名となり、2クラスに分かれて授業が行われています。アザディ大学は、トルクメニスタンで唯一日本語学科が設置されているということもあり、卒業後は大学・学校の日本語教員になる学生が多く、日本語教員養成機関としての役割もあります。現在もトルクメニスタン国内で日本語を教えている教員のほとんどがアザディ大学の卒業生です。毎年11月には「日本文化週間」という日本／日本語関連のイベントが開催されます。また、モスクワや中央アジア諸国で開催される弁論大会にもアザディ大学の学生が参加しています。年に数名の学生が日本に留学しています。